

# NIGERIA

2020.12



## アフリカ農水産品・ 食品関連（機械含む） 現地ニーズレポート

経済産業省  
令和2年度技術協力活用型・  
新興国市場開拓事業補助金  
（社会課題解決型国際共同開発事業  
（製品・サービス開発等支援事業））

アイ・シー・ネット株式会社



# CONTENTS

コメ産業	04	概況・特徴
	09	業界構造
	14	市場規模
	15	ニーズが見込まれる製品・サービス
	18	パートナーとすべき現地企業の特徴
	20	参入事例
乳業	22	概況・特徴
	23	業界構造
	26	市場規模
	27	ニーズが見込まれる製品・サービス
	28	パートナーとすべき現地企業の特徴
ナマズ産業	31	概況・特徴
	33	業界構造
	37	市場規模
	38	ニーズが見込まれる製品・サービス
	40	パートナーとすべき現地企業の特徴
	42	参入事例

コメ産業





## 概況・特徴(耕種セクター)

- ナイジェリアにおける農林業は産業別GDPの構成比の約21.9%、労働人口の2/3以上を占め、経済にとって重要なセクターである。
- 主な主要輸出品目はカカオ豆、ココナッツ、油糧種子であり、主な輸入作物は小麦である。日本への主な輸出農産物はゴマ、香辛料である。
- 国内における主要作物は、キャッサバ、ヤムイモ、ソルガム、トウモロコシ、豆類(ササゲ、落花生、シアナッツなど)である。

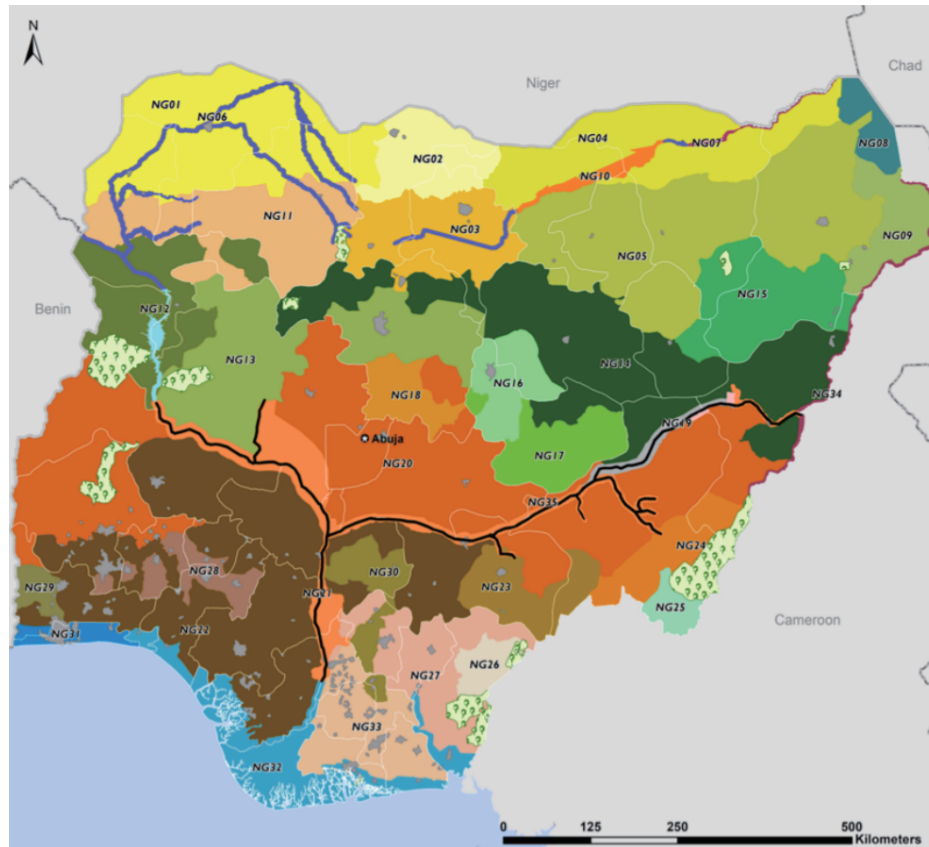


## 概況・特徴(耕種セクター)

- ナイジェリア国土は北部に熱帯サバンナ、南部に熱帯雨林、そしてニジェールデルタにはマングローブ林が広がり、多種多様なフルーツ、野菜、穀物が栽培可能である。

- ナイジェリアの耕作可能面積は8200万haあるが、現在耕作が行われている3400万haに留まり、今後更なる生産拡大が期待される。

### 農業生産マップ



○首都    ■都市    ■水域    ■国立公園

NG01-	ソコト:ミレット、ササゲ、落花生、家畜
NG02-	カノ、カツイナ、ジガワ:ミレット、ソルガム、ゴマ、家畜
NG03-	カノ、カツイナ、カドゥナ:ソルガム、メイズ、コメ、落花生
NG04-	ボルノ、ヨベ、ジガワ:ミレット、ゴマ、ササゲ、家畜
NG05-	ボモ、ヨベ、パウチ:ミレット、ササゲ、落花生、ゴマ
NG06-	ソコト、リマ、カノ:川沿いでの稲作、漁業
NG07-	コマダグ、ヨベ:トウガラシ(灌漑農業)、コメ、ミレット、野菜
NG08-	チャド湖:漁業、メイズ、小麦、ササゲ、野菜
NG09-	チャド盆地:ソルガム、小麦(氾濫農耕)
NG10-	ハデジア、ングル湿地:穀物、野菜、漁業の混合農業
NG11-	北西部:ソルガム、メイズ、大豆、コメ
NG12-	北西部:ソルガム、メイズ、コットン(輸出)
NG13-	北西部・中央部:メイズ、ソルガム、サツマイモ、ササゲ
NG14-	中央部:ソルガム、メイズ、落花生、ササゲ、ゴマ
NG15-	北東部:メイズ、コメ、ササゲ、大豆、落花生
NG16-	高原:ジャガイモ、メイズ、フォニオ、家畜
NG17-	低地:コメ、ソルガム、畜牛
NG18-	ショウガ、ターメリック、メイズ、ソルガム、ヤム芋、フォニオ
NG19-	ベヌエ川:サトウキビ、コメ
NG20-	中央:ヤム芋、メイズ、キャッサバ、コメ、大豆
NG21-	ニジェール・ベヌエ川氾濫原:コメ、メイズ、野菜、家畜
NG22-	キャッサバ、メイズ、ヤム芋、樹木作物
NG23-	柑橘系果実、イモ類、穀物、大豆、落花生
NG24-	カカオ豆、オイルパーム、穀物、イモ類
NG25-	マンビラ高地:畜牛、メイズ、ジャガイモ、紅茶、コーヒー、コーラナッツ
NG26-	クロスリバー:カカオ豆、オイルパーム、イモ類、コメ、プランテン
NG27-	南東部:コメ、キャッサバ、ヤム芋、オイルパーム
NG28-	南西部:カカオ豆、オイルパーム、イモ類、穀物
NG29-	南西部:コメ、キャッサバ、畜牛(輸出)
NG30-	カシューナッツ、オイルパーム、イモ類、メイズ
NG31-	ラゴス郊外:漁業、養豚、養豚、近郊農業、ココナッツ
NG32-	海岸線・ニジェールデルタ:漁業、キャッサバ、プランテン、オイルパーム、ゴム
NG33-	南東部:キャッサバ、穀物、オイルパーム
NG34-	北東部:畜牛、食用作物
NG35-	ニジェール・ベヌエ川:漁業、食用作物

(出所)REVISED LIVELIHOODS ZONE MAP AND DESCRIPTIONS FOR NIGERIA, USAID 2018



## 概況・特徴(耕種セクター)

- 世界最大のキャッサバの生産国であり、約370万haの耕作地から年間約5,000万トンが生産されている。世界の約20%、アフリカの約34%、西アフリカの約46%のキャッサバ生産量を占めている。主に、小規模農家によって栽培されている。
- アフリカ大陸の主要なコメの消費国であり、アフリカで最大のコメ生産国の1つである。コメは重要な食料安全保障作物であるだけでなく、生産のほとんどを占める小規模生産者にとっては、重要な換金作物となっている(一般に総生産量の80%を販売し、20%を消費する FAO)。

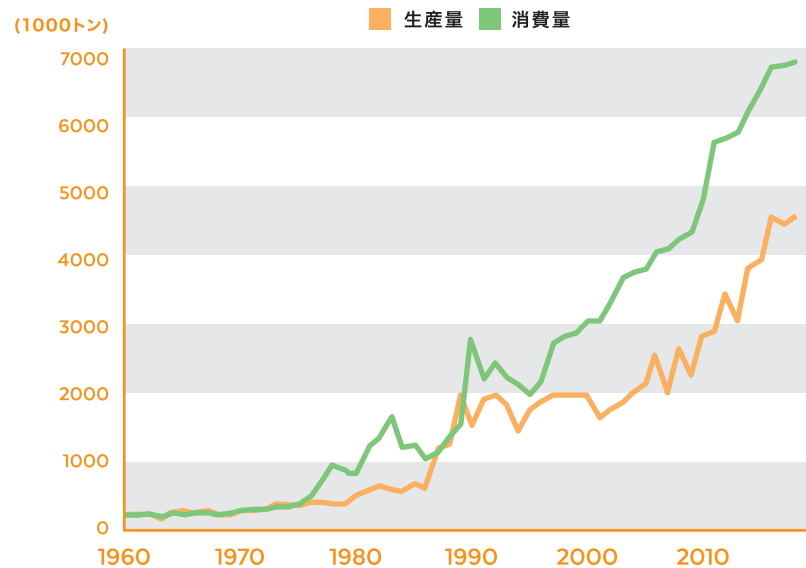
			収穫面積(ha)	単収(hg/ha)	生産量(tones)
耕種	青果・園芸 (花き含)	キャッサバ	6,852,857	86,789	59,475,202
		ヤムイモ	5,990,184	79,351	47,532,615
		アブラヤシ	3,015,530	26,032	7,850,000
		柑橘類	818,805	49,721	4,071,176
		サツマイモ	1,712,363	23,534	4,029,909
		トマト	608,116	64,363	3,913,993
	穀物・豆類 (油糧含)	トウモロコシ(メイズ)	4,853,349	20,924	10,155,027
		ソルガム	6,125,132	11,204	6,862,343
		コメ	3,345,969	20,351	6,809,327
		落花生	2,911,705	9,915	2,886,987
		乾燥マメ(ササゲ)	2,853,097	9,137	2,606,912
		シアナッツ	428,886	6,141	263,374
	換金作物	サトウキビ	91,943	154,778	1,423,086
		ゴマ	539,089	10,625	572,761
		カカオ豆	1,181,625	2,818	332,927



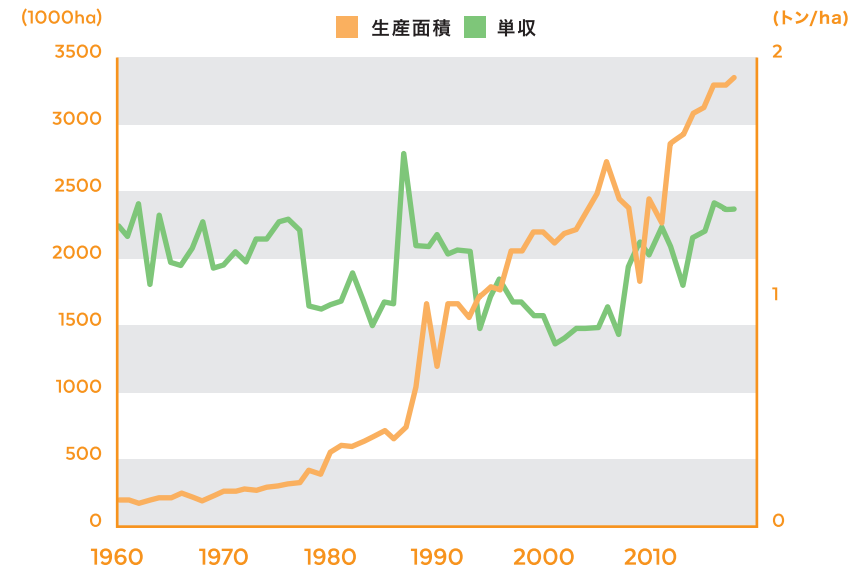
## 業界概要(コメ産業)

- コメの消費量約680万トンに対し、生産量は約460万トンである。
- コメの輸入量は2015年の64万トンから2万トンに激減しているが、タイ米が隣国ベナン・トーゴ経由で密輸されている可能性があるとして推測されている。
- コメは約370万haの土地で栽培されており、総耕地面積7,000万haのうち、耕作地3,500万haの土地の約10.6%を占める。
- ナイジェリアの米の生産性は近隣諸国の中で最も低く、平均収量は1.51t/haである。

### 生産量と消費量の推移



### 生産面積と単収

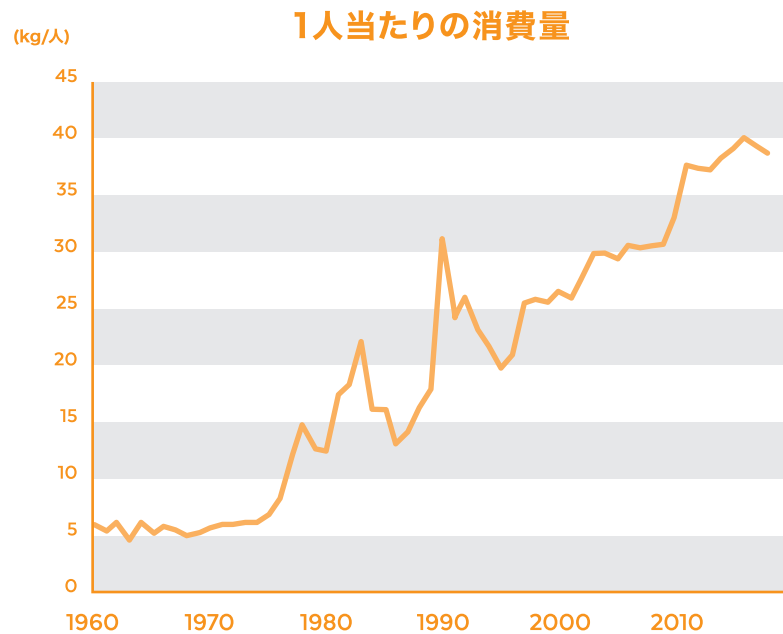


(出所)世界の食料統計、FAOSTAT、JETRO『連邦政府、コメなど農業振興重視も密輸対策などに課題』2019



## 業界概要(コメ産業)

- 過去50年、1人当たりのコメ消費量は増加傾向にある。将来的にも国全体の消費量については2029年には933万トンと、2020年の約128%まで増加すると予測されている。
- また耕作地の77%が天水稲作であり、そのうち47%が低地、30%が高地で栽培されている。



## 将来の予測

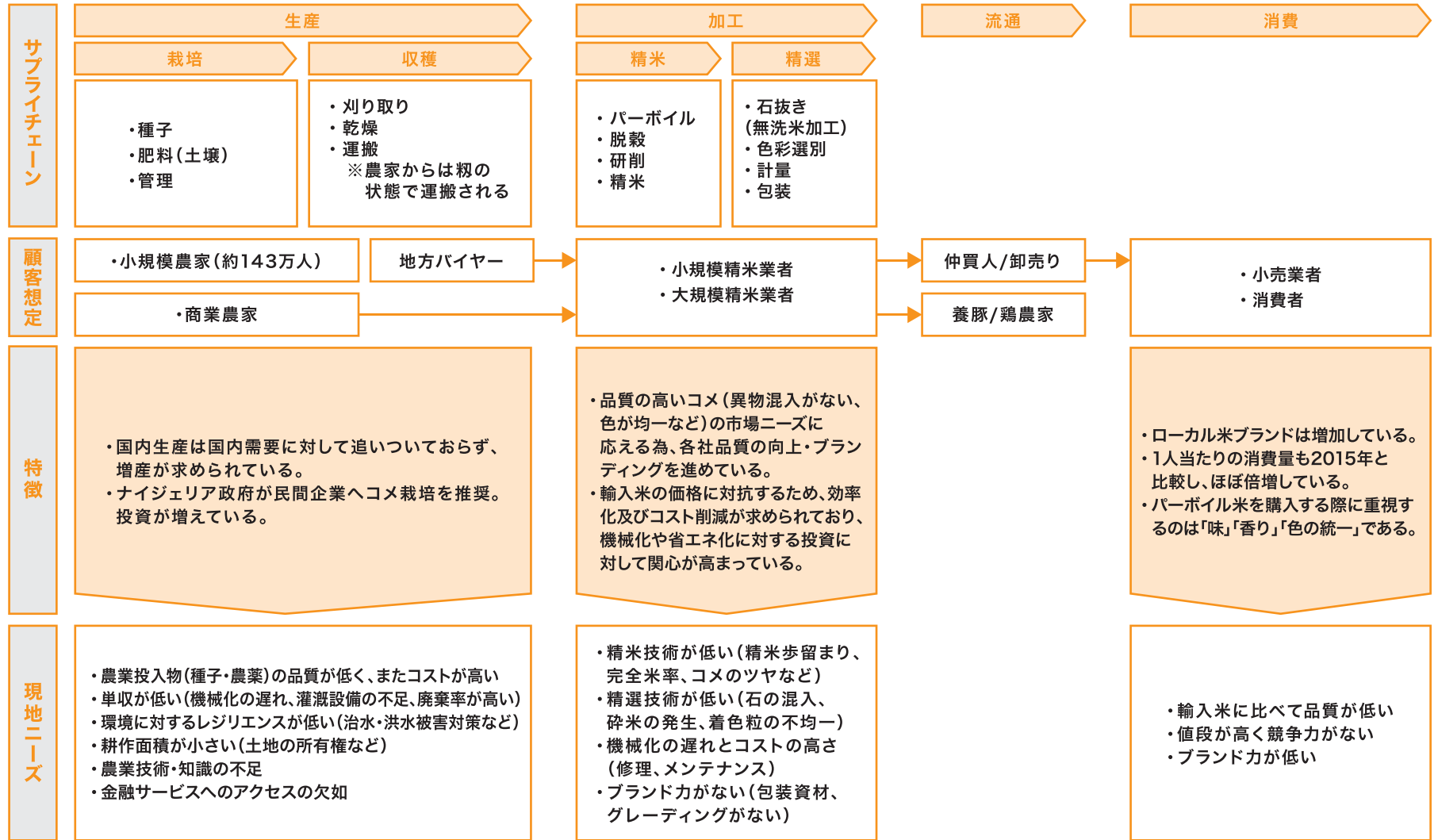
Variable	20/21	21/22	22/23	23/24	24/25	25/26	26/27	27/28	28/29	29/30
	(Thousand Hectares)									
Area Harvested	3,612	3,640	3,670	3,686	3,721	3,752	3,780	3,821	3,865	3,894
	(Metric Tons per Hectare)									
Yield	1,36	1,37	1,38	1,39	1,40	1,41	1,42	1,43	1,44	1,46
	(Thousand Metric Tons)									
Production	4,904	4,994	5,050	5,124	5,226	5,285	5,379	5,453	5,571	5,667
Beginning Stocks	1,077	998	962	939	924	913	906	900	897	894
Domestic Supply	5,981	5,992	6,012	6,063	6,150	6,199	6,284	6,354	6,468	6,561
Consumption	7,268	7,490	7,773	8,059	8,314	8,568	8,800	9,003	9,197	9,332
Ending Stocks	998	962	939	924	913	906	900	897	894	892
Domestic Use	8,266	8,452	8,712	8,984	9,228	9,474	9,700	9,899	10,091	10,224
Net Trade	-2,285	-2,460	-2,700	-2,920	-3,077	-3,275	-3,416	-3,545	-3,623	-3,663

(出所)世界の食料統計、FAO STAT、AGREP、International Rice Outlook, APRIL 2020





## 業界構造(バリューチェーン)



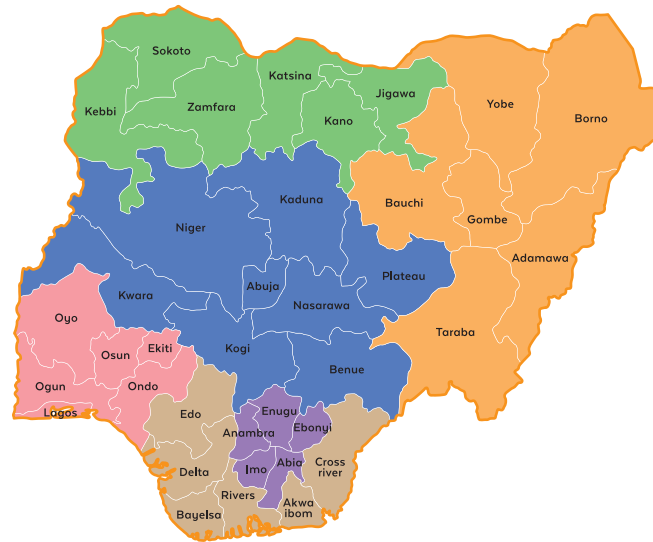


## 業界構造(バリューチェーン:生産)

### 北西地域

- 高地での天水農業及び灌漑農業
- ケッピ州のリマ川周辺では深水栽培もみられる
- 地域の主要交易拠点はカノである
- 精米を目的とした穀物加工地域(Staple Crop Processing Zones, SCPZ)としては、カノ、ケッピ、ソコトが提案される

### コム生産・加工地域



### 北東地域

- 低地での天水農業及び灌漑農業
- 地域の主要交易拠点はマイドゥグリである
- 精米を目的とした穀物加工地域(Staple Crop Processing Zones, SCPZ)としてはタラバが提案される

### 南東地域

- 高地での天水農業と、低地での灌漑農業及び天水農業
- 地域の主要交易拠点はアバとオニトシャである
- 精米を目的とした穀物加工地域(Staple Crop Processing Zones, SCPZ)としてはエヌグとアナンブラが提案される

### 北部中央地域

- 高地での天水農業及び灌漑農業
- 地域の主要交易拠点はザリアである
- 精米を目的とした穀物加工地域(Staple Crop Processing Zones, SCPZ)としてはナイジャが提案される

### 南南地域

- 高地・低地での天水農業、及びマングローブ湿地
- 灌漑農業及び深水栽培も行われている
- 地域の主要交易拠点はポートハーコートとワリである

### 南西地域

- 高地・低地での天水農業と灌漑農業
- 地域の主要交易拠点はラゴスである

(出所)KPMG「Rice Industry Review」2019



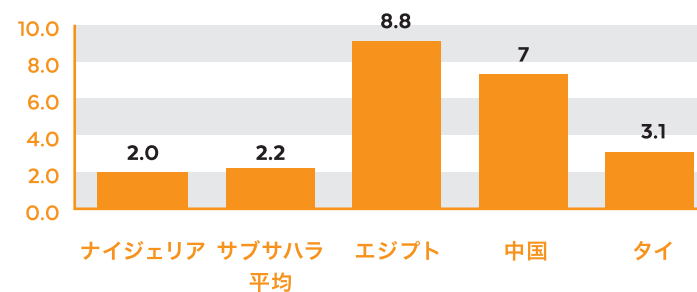
## 業界構造(バリューチェーン:生産)

- ナイジェリアではの2品種が主に流通している。近年、ハイブリッド種のNERICAも普及し始めている。
- タネブランドとしては陸稲として改良されているFAROシリーズが最も普及している。
- ナイジェリアの1ha当たりの生産量は2.0tと、サブサハラ地域の平均値2.2t/haより低い。アフリカで最も生産量の多いエジプトが8.8t/haである。

主なタネの種類







品種名	育成期間(日)	収穫量(トン/ha)	形
Faro 44	115	4.0-6.0	Long
Faro 45	100	2.0-3.0	Medium
Faro 46	105	2.0-3.5	Medium
Faro 47	115	2.0-4.0	Long
Faro 48	128	2.5-4.0	Medium
Faro 49	120	2.0-4.5	Medium
Faro 50	125	4.0-6.0	Medium
Faro 60 (L 19)	125	4.0-6.0	Long
Faro 61 (L 34)	125	4.0-6.0	Long

各国・エリアの生産性 (t/ha)





## 業界構造(バリューチェーン:加工)

会社名	概要	ロゴ
Olam Nigeria	Olam はナイジェリアにおける精米のリーディングカンパニーで、年間36,000トン进行米している。精米工場はナサラワ州にあり、近くには工場所有の6,000haの稲作用地がある。Olamナイジェリアは8,000人の雇用を生み出していることでも評判が高い。コメ生産量の増大に向け、近い将来に稲作用地の10,000haへの拡大が検討されるだろうと言われている。	
Onyx Rice Mill	Onyx 精米工場は25,000トン以上の米を生産する、ナイジェリアでも有数の精米企業である。新しいイノベーションを取り入れ、2009年の創業以来、同企業の株価は上がり続けている。最新式の設備により工場では年間7,500トン、400,000袋の米を生産することが可能で、卸業者や消費者に販売されている。工場はナイジャ州のビダにあり、Onyxはビダの米農家のエンパワメントに貢献しており、米で返済する場合は利息が付かないローンを契約農家に提供している。これは、契約農家の生活を向上させることで、米生産を促進することを目的とした戦略である。	
Integrated Grain Processors (Nig) Ltd	Integrated Grain Processorsは高品質の長粒米を販売する企業である。同社の精米工場は2011年の稼働開始以来、毎月約3,000袋の米を生産し、消費者に届けている。長粒米以外にも、同社ではビタミンやミネラルといった栄養の豊富な米ぬかを生産している。生産された米ぬかは通常50kgの袋に詰められ、家畜飼料や人間の食用に用いられている。また、同社はエヌグ州に近代的な精米工場を建設しており、長粒米が加工、包装されている。	
Quarra Rice Mill	Quarra Rice millは25,000トンという巨大な生産能力のある設備を有し、外部の契約農家が栽培した穀物を販売している。また、同社では1,500haにも及ぶ種籾栽培用の畑を開拓している。年間最大150,000トンの米とミレットを加工することが可能である。国内でも有数の精米企業で、クワラ州のトサラジに精米所がある。	
Igbemo Rice Processing Company Limited	本企業はエキティ州にあり、同州にて初めて精米事業のライセンスを取得した企業である。最高品質の米を販売するブランドとして、“消費者満足度”が常に同社の合言葉となっている。	
Dangote Rice Mill	Dangote Rice Mill はアフリカで最も裕福な事業家であるAliko Dangoteが所有し、Dangatoteグループの子会社である。精米工場はソコト州への設置が予定され、稲作が行われている北部の州のニーズを満たすことになる。ソコト州の精米機械は毎年25万トン、1時間に50トンの精米可能であるといわれている。本事業の開始に向け、25haの土地が確保された。	

(出所)KPMG「Rice Industry Review」2019



## 業界構造(バリューチェーン:消費)

- コメは主要な主食の1つであり、全ての地域と所得クラスで消費されている。
- 零細農家にとって重要な換金作物となっており、主に露地栽培だが、最近ではハウス栽培が人気を集め始めている。
- 2億人を越えた国内人口は今後も急速な勢いで増加すると予測されており、コメの需要は当面の間持続したのち、増加すると期待されている。
- 国内ブランドも多岐に渡り、毎年新たなブランドが誕生するなど、市場が大きく成長している。

### 主なブランド

(単位:50kg)

Mama Gold	Mama Pride	Royal Stallion	Caprice	Anambra Rice	Elephant Price
23,000-26,000 NGN	23,000-26,000 NGN	26,000-29,000 NGN	26,000-29,000 NGN	22,000-25,000 NGN	24,000-26,000 NGN
African Princess	Adamina Rice	Al-Hamsad Rice	Cosrice	Ga'ate Gold rice	Igbemo rice
26,000 -28,000 NGN	15,000 -18,000 NGN	16,000 -18,000 NGN	16,000 -19,000 NGN	16,000 -18,000 NGN	16,000 -19,000 NGN
Mama Africa	Lake Rice	Mama Happy Rice	Miva rice	Savannah Premium Rice	UMZA Classic Rice
21,500 -24,500 NGN	16,000 -19,000 NGN	16,000 -19,000 NGN	16,000 -19,000 NGN	16,000 -19,000 NGN	16,000 -19,000 NGN

(出所) 10 Best Rice Brands in Nigeria : <http://www.naijawinelovers.com/10-best-rice-brands-in-nigeria>、Top 20 Best Rice Brands in Nigeria (2020) : <https://zerofy.ng/best-rice-brand-in-nigeria/>



## 市場規模

### コメの市場規模

**7,000億円** (2019)

- 最新の調査によると、様々な市場でローカル米の新たなブランドが誕生しており、2019年はラゴスの主要市場全体でローカル米の価格が下がった。前年までの平均¥415/kgと比較して、平均¥385/kgで販売されている。(USDA2019)
- 2019年のコメの消費量は655万トンであった。近年650万トン/年の消費量が続いているが、長期トレンドでは増加傾向であり、今後も国全体での人口増加が予測されている点から、さらなる市場拡大が期待されている。(USDA 2020)

### コメの将来市場規模



**1兆1,223億円** (2029)

- 人口増加及び1人当たり消費量の増加に伴い、国内における消費量は現在の約1.4倍に当たる932万トンまで拡大すると予測されている (AGREP 2020)。
- 販売価格が変動しない場合でも、国内市場規模は1兆円を超える規模まで成長することが予測される。



## ニーズが見込まれる製品・サービス(栽培)

製品・サービス	想定される顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
栽培環境に適した種子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家</li> <li>・資材販売会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業投入物(種子・農薬)の品質が低く、またコストが高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地農家は現在でも種子を購入している為、現地適正価格であれば十分に購入可能である。ただし金融サービスなど併せて提供することで、より購買力は高くなる。</li> </ul>
収穫機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業組合</li> <li>・精米会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣国と比べて単収が低い。これは、機械化の遅れ、灌漑設備の不足、廃棄率の高さなどが原因となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Rice Farmers Association of Nigeria (RIFAN)と呼ばれる大規模組織から地域のCooperativeなど農業組合単位であれば購入できる可能性もある。精米会社は農地への投資は増加傾向であるため、購買力は高い。</li> </ul>



## ニーズが見込まれる製品・サービス(加工)

製品・サービス	想定される顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
マイクロファイナンス/ インシュアランス サービス	・農家 ・農業組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な金融サービスへのアクセスの手段が欠如している。</li> <li>具体的には小口金融や災害時の小口保険などが現地農家のニーズが高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融サービスへのアクセスの需要は非常に高い。条件によっては農家単位でも十分に提供可能である。</li> <li>アプリを通じた金融サービスの提供や現地金融機関と連携してのサービス提供が可能であると想定される。</li> </ul>
精米機	・精米会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>精米技術が低い。具体的には精米歩留まりが高い、完全米率が低い、コメのツヤが十分でない等が挙げられる。</li> <li>このため、輸入米の価格と比べて、品質における優位性がない状況に陥っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精米会社は増産に向けて投資意欲が高いため、購買力は十分に有すると考えられる。</li> </ul>





## ニーズが見込まれる製品・サービス(加工)

製品・サービス	想定され顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
<ul style="list-style-type: none"> <li>石抜き機</li> <li>選別機</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精米会社</li> <li>農業組合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精選技術が低い。具体的には、石の混入、碎米の発生、着色粒の不均一などが課題として発生している。</li> <li>このため、輸入米の価格と比べて、品質における優位性がない状況に陥っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精米会社は増産に向けて投資意欲が高いため、購買力は十分に有すると考えられる。また各地の農業組合(Cooperative)も小型かつ安価な機械が提供できれば十分に顧客と成り得る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>包装機械/資材</li> <li>基準作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精米会社</li> <li>農業組合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パッケージング能力及び資材不足により、ブランド力をつけることができていない。</li> <li>またグレーディングの仕組みがないため、品質基準も一定でない。</li> <li>このため、輸入米の価格と比べて、品質における優位性がない状況に陥っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブランディングによって売価が上がる可能性があるため、基準を作成し、適切なマーケティングができれば、導入が進む可能性はある。</li> </ul>



## パートナーとすべき現地企業の特徴

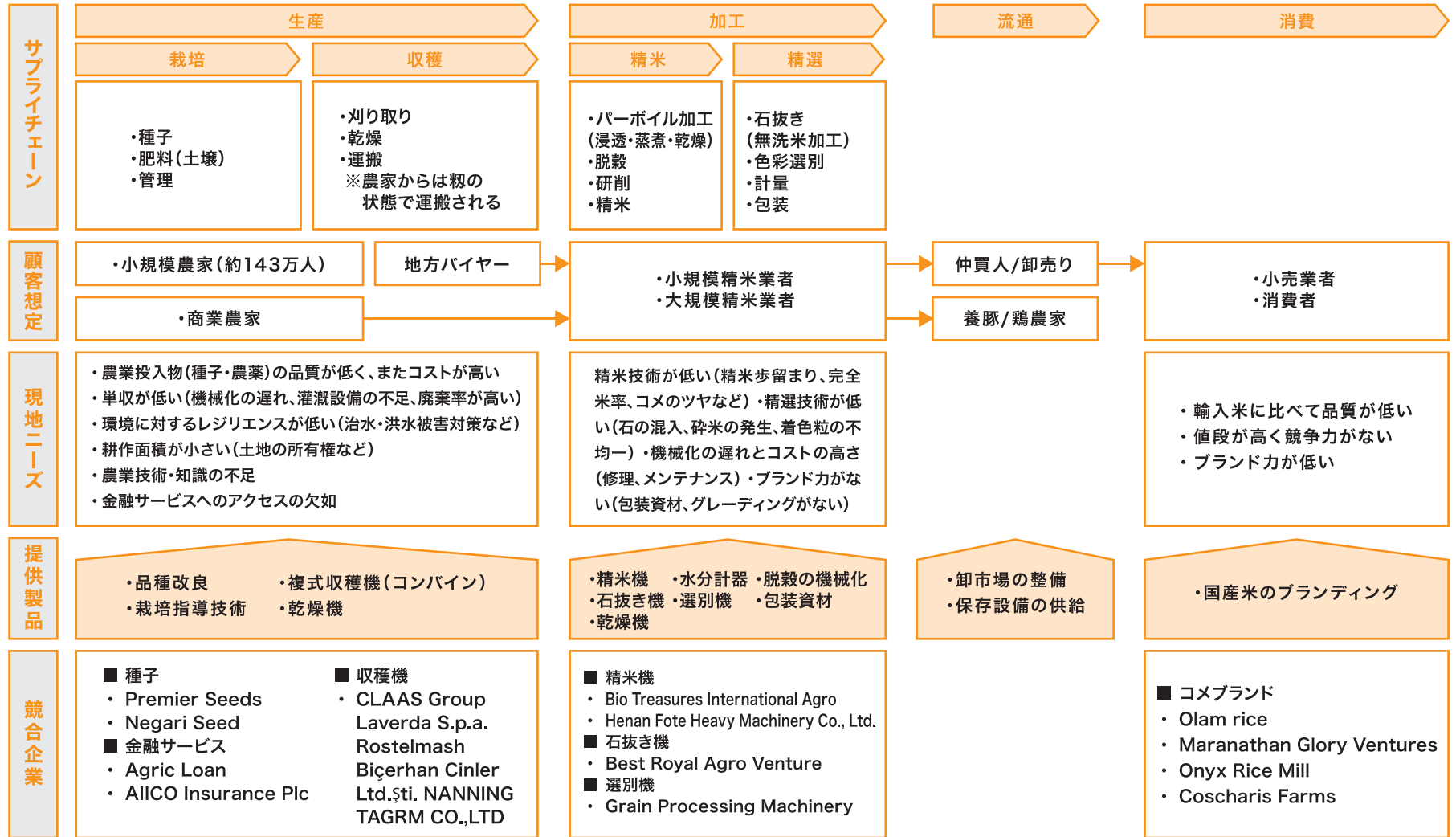
### 特徴

- ナイジェリア国・州はコメの生産量増加に向け民間企業との提携を推進している。このため州政府・民間企業が地元農家への支援を開始しており、この流れを活用することが重要であると考える。
  - ラゴス州とケッピ州はコメ生産に投資するためのMoUを締結。2016年12月より50kg袋あたり¥13,000で配布を開始した。
  - アランブラ州はCoscharis Groupとコメ生産量を8万トンから40万トンに増加することを目的に提携。
  - 2016年、Ebonyi州は商業用稲作農家に苗、肥料、農薬などの形で10億¥の融資を実施。また、2016年には54,000haを大規模な稲作のために確保した。

名称	業務内容	特徴	期待される役割	所在地/ウェブサイトなど
Coscharis Farmers	・農家と提携したコメ生産を実施	・Anambra州にて10,000haの土地を所有	農家へのネットワーク 金融サービスの提供	Km 32 Lekki -Epe Expressway, Awoyaya, Lagos, Nigeria <a href="https://coscharisgroup.net/coscharis-farms">https://coscharisgroup.net/coscharis-farms</a>
Dangote Industries Limited	・自社農園、提携農家と共にコメを生産	・Edo州、Jigawa州、Kebbi州、Kwara州、Niger州にて約15万ha ・これまで約1000億円規模の投資を実施	地方の農家・農資材店とのネットワーク	1 Alfred Rewane Rd, Ikoyi, Lagos, Nigeria <a href="https://www.dangote.com/">https://www.dangote.com/</a>
Olam Group	・自社農園、提携農家と共にコメを生産	・三菱商事が一部出資 ・Nassarawa州にて16,000haの土地を保有	地方の農家・農資材店とのネットワーク	Opposite Fbn Regional Office, Abebe Village Road, Plot 5 & 6 Lagos Nigeria <a href="https://www.olamgroup.com/locations/west-and-central-africa/nigeria.html">https://www.olamgroup.com/locations/west-and-central-africa/nigeria.html</a>



## コメ産業における参入可能性





## 参入事例

### 進出済み

会社名	セクター	概要・特徴	進出形態	所在地/ウェブサイト
日本たばこ産業	農業	葉タバコの調達	現地法人	<a href="https://www.jti.co.jp/">https://www.jti.co.jp/</a>
味の素	食品加工	うま味調味料(「味の素」「MaDish」等)や加工食品の製造・販売	現地法人	<a href="https://www.ajinomoto.co.jp/">https://www.ajinomoto.co.jp/</a>
サンヨー食品	食品加工	即席麺(現地ブランド「チェリー」)の製造・販売	オラム・インターナショナルと合併会社設立	<a href="https://www.sanyofoods.co.jp/">https://www.sanyofoods.co.jp/</a>
サントリー食品 インターナショナル	飲料	飲料(「Lucozade」「Ribena」「Orangina」「Oasis」等)の製造・販売	現地法人	<a href="https://www.suntory.co.jp/">https://www.suntory.co.jp/</a>

### 調査フェーズ

会社名	セクター	調査名	計画中の事業概要	調査期間	ウェブサイト
クボタ	農業	小規模稲作農家向け 農業機械の普及・実証・ ビジネス化事業	小規模農家向けの 耕運機の普及	普及・実証・ビジネス化事業 (SDGs型)※契約交渉中	<a href="https://www.kubota.co.jp/">https://www.kubota.co.jp/</a>

乳業

2

乳業

NIGERIA

FVC



## 概況・特徴(畜産セクター)

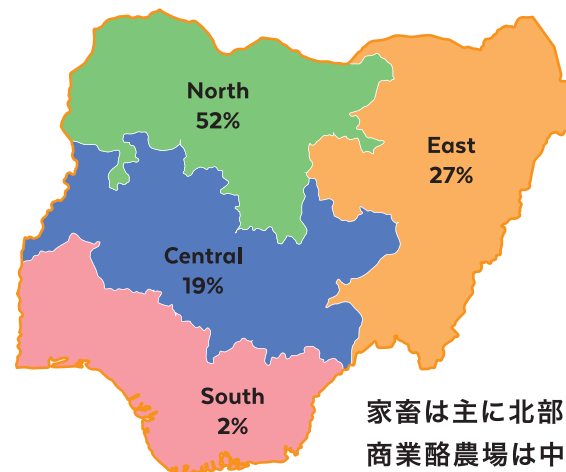
- ナイジェリアの農業セクターはGDPに対して21～25%、雇用には36%ほど貢献している。農業セクターGDPにおける畜産の貢献率は7～9%、全体GDPに対する貢献率は1.7%ほどである。
- ナイジェリアでは2050年までに人口が4.1億人まで増加するといわれており、人口増加と共に、2015年から2050年の間にナイジェリアにおける牛肉、鶏肉、牛乳、卵の消費はそれぞれ196%、207%、158%、195%増加するとFAOは推定している。
- 動物製食品全体において顕著な輸入過多の状態になっているが、水産物に続いて多いのが乳製品であり、2.34億ドルの濃縮乳、1,460万ドルのバターを輸入している。
- 国内消費に対する国内生産が追いついておらず、生産量を急成長させていく必要がある産業であると同時に、畜産業は環境への負荷が非常に高いため、環境悪化も懸念されている。



## 業界構造(畜産セクター)

- セクター全体の大半が小規模農家で成り立っているが、今後人口増加に合わせて供給量を増やしていくためには、集約型システムの割合を増やしていく必要がある(現在は全体の1%)。
- 集約型システムに移行し、より生産効率を上げることにより、既存の小規模農家のような畜産セクターの直接雇用が削減されてしまう可能性が高く、他の産業などでの雇用の確保も非常に重要になってくる。

Cattle population  
by geographic zones(NASS2011)



家畜は主に北部に、  
商業酪農場は中央部に集中している

			全国家畜所有数(頭)	年間生産量(トン)	一人当たり年間消費量
畜産	肉用牛	牛肉	18,400,000	390,214	10~20kg
	酪農	牛乳	2,300,000	641,000	10~25ℓ
	養鶏	鶏肉	180,000,000	190,000	1.8kg
	鶏卵	卵	(鶏肉の羽数内に含)	12,035,917,000個	55個
	その他	豚肉	7,500,000	280,000	N.A.
ヤギ肉		73,900,000	250,000	N.A.	

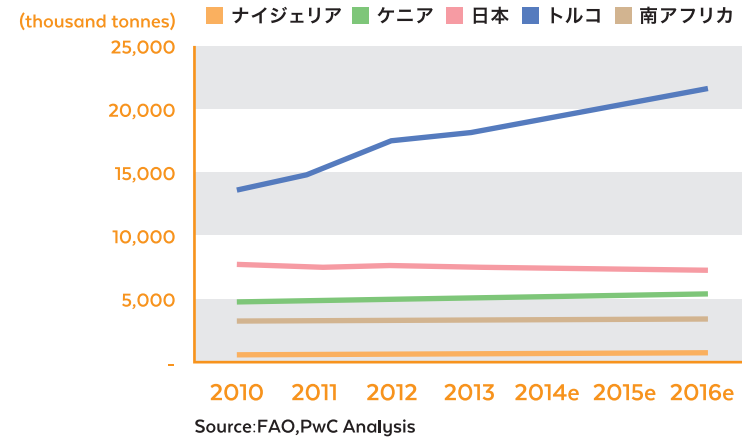
(出所)CSIRO Agriculture and Food. Dairy Production in Nigeria., FAO. 2019. The future of livestock in Nigeria. Opportunities and challenges in the face of uncertainty. Rome.



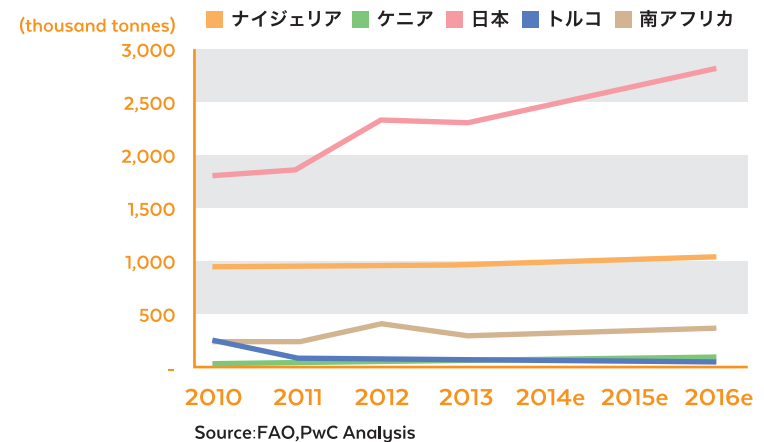
## 業界構造(乳業)

- 乳製品において、ナイジェリアは圧倒的に需要過多の状態、年間約170万トンの消費に対して国内生産量はわずか60万トンに留まっている。
- 1人当たりの年間消費量はまだまだ低く、10~20リットルに留まっているため、今後成長の伸びしろが大きい。(アフリカ平均:28~37リットル、ケニア:121リットル)
- 年間60万トンの生産量というのは、アフリカの平均である90万トンやアジアの平均値66万トンよりも低く、世界最下位となる。1頭につき1日0.7~1.5リットルの牛乳しか生産できない牛が多くいるなど、ナイジェリアの乳業における課題のほとんどは生産過程にある。(比較:ケニアでは1日4~7リットルほど)
- 国全体の2,000万頭のうち230万頭が乳業用であり、残りの大半は食肉用である。大半は北部地域にて生産されており、品種はほぼすべてが地場の品種(Bunadji, Rahaji, Sokoto Gudali)となっている。

### Milk Production



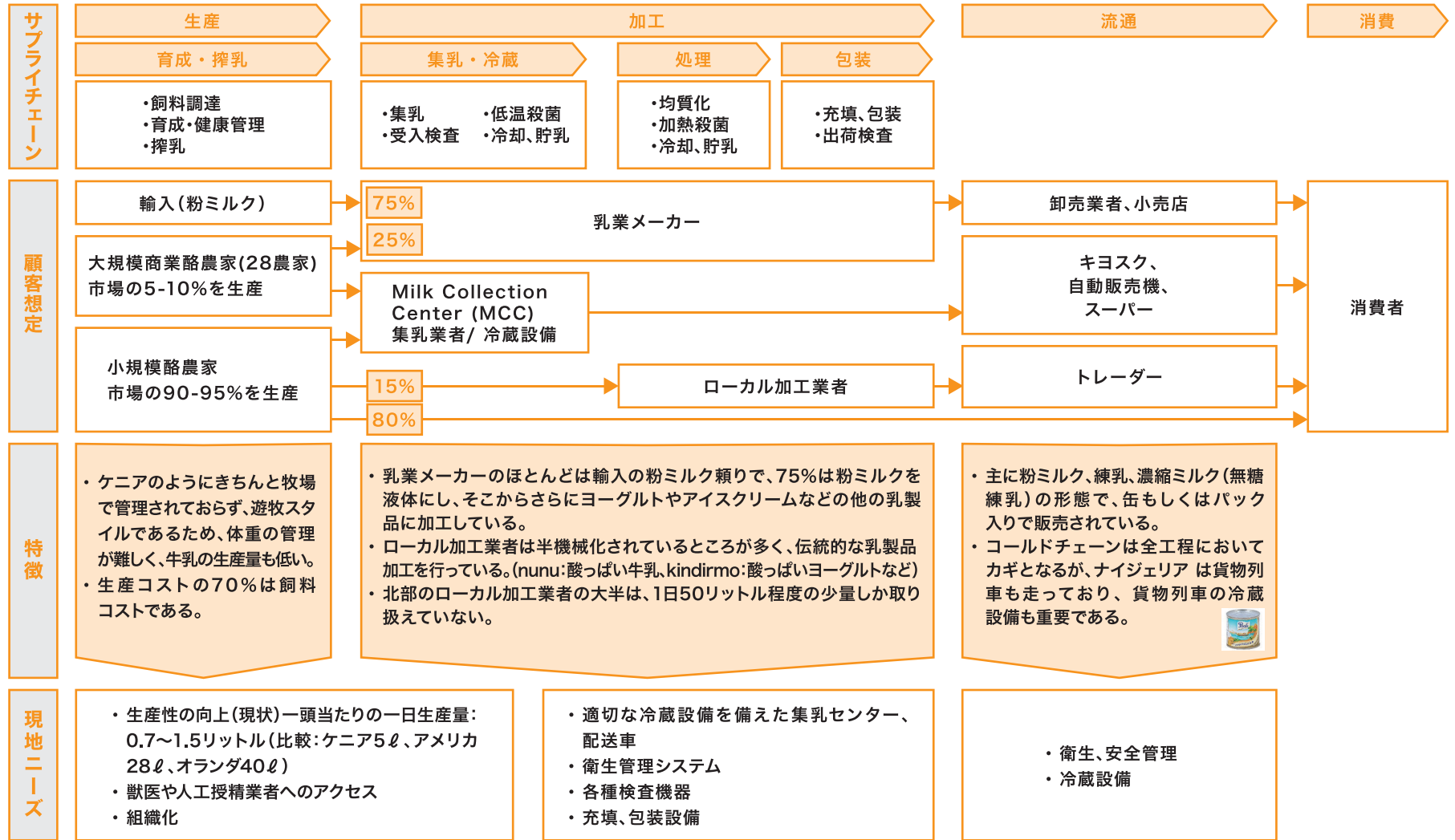
### Milk Importation







# 業界構造(バリューチェーン)





## 市場規模

### 牛乳市場規模

約**2,890**億円 (2018)

### 乳製品年間輸入額

約**1,551**億円 (2018)

- ナイジェリアには2,000万頭以上の畜牛がおり、アフリカ大陸の中で第4位を誇る。そのうち88.5%が食肉用、11.5%が乳業用となっている。しかし、ナイジェリアの畜牛の99%を占める、ナイジェリア原産の品種は生産性が低く、年間64万トン(ケニアの1/9)しか生産できていない。
- 年間170万トンの牛乳消費がある中、国内生産は64万トンにとどまっている。
- 国内乳製品メーカーの大半が、粉ミルクを元に加工生産を行っており、ナイジェリアの乳製品輸入の大半は粉ミルクが占めている。また、国内の牛乳生産コストは輸入粉ミルクの2倍である。
- 飼料の確保や生産、コールドチェーンなど、バリューチェーン上の様々な課題があると同時に、政府の収入の80%を原油・ガスに頼っていることから、通貨が非常に不安定であり、輸入頼りの乳業には大きな痛手となっている。
- これだけの金額が牛乳の輸入に使われているものの、ナイジェリア人の一人当たりの牛乳消費量は10~20リットルであり、かなり低い。米や豆に比べ、牛乳は必需品とはとらえられておらず、ぜいたく品として見る人が多いのも影響している。

(試算) 一リットル約180円として算出

(出所) ナイジェリア中央銀行



## ニーズが見込まれる製品・サービス(乳業)

製品・サービス	想定される顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
家畜人工授精師の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酪獣医師養成機関</li> <li>・大手乳業メーカー</li> <li>・組合</li> <li>・政府機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場品種の生産性が非常に低いため、より多くの牛乳を生産可能な品種を繁殖する必要があるが、人工授精に対する認知および技術が足りていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずしも受益者と購買能力のある先が一致しているわけではないため、見極めた上での選定が必要。</li> </ul>
集約畜産や小規模畜産農家の組織化に関する技術指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模農家</li> <li>・組合</li> <li>・政府機関</li> <li>・大手乳業メーカー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じサブサハラアフリカ内でも、ナイジェリアの乳業においてはケニアのように組織化がうまく行われていないため、非常に生産性が悪い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずしも受益者と購買能力のある先が一致しているわけではないため、見極めた上での選定が必要。</li> </ul>
各種検査キット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酪農家</li> <li>・集乳業者</li> <li>・乳製品工場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーマルなバリューチェーンにのらず、集乳施設や処理工場を通らない牛乳の安全・品質管理が重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型で安価であり、正確性の高い商品であれば購買力あり。</li> </ul>



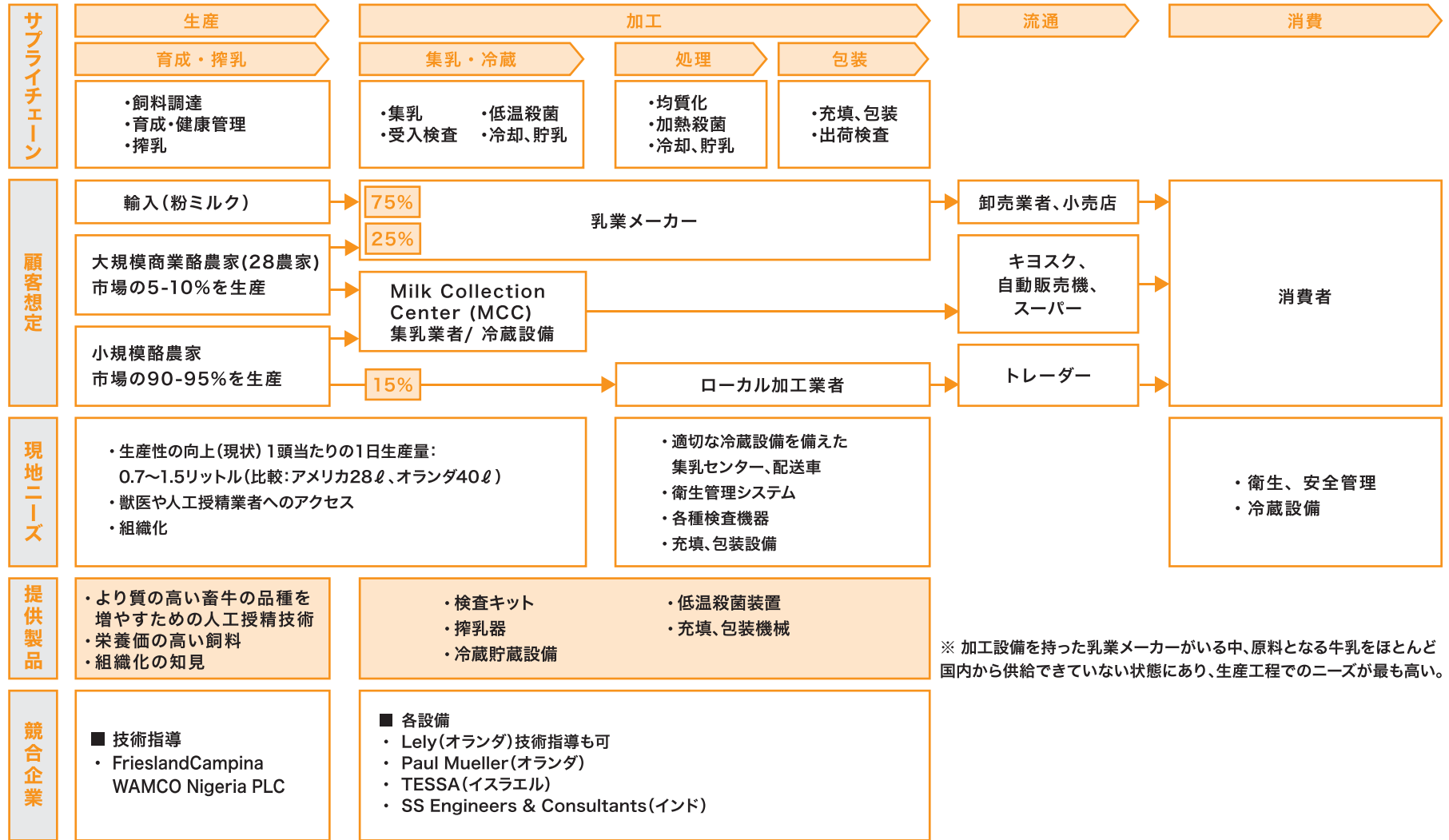
## パートナーとすべき現地企業の特徴

### 主なパートナー候補企業

名称	業務内容	特徴	期待される役割	所在地/ウェブサイトなど
国立乳業開発プロジェクト (NDDP)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間セクター主導で、ナイジェリア政府の乳業政策を実行するための機関。</li> <li>・牛乳とその他乳製品の生産増加を目標に掲げ、様々なトレーニングやワークショップ、会議や会合、イノベーション賞を主催し、データ収集や情報発信も行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間で最低2万件の小規模農家のサポートし、間接的に40万人の生計向上に貢献することを目標としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各政府機関および民間企業とのネットワーク</li> <li>・官民連携</li> <li>・情報提供</li> </ul>	22 John Olugbo Street, Allen Avenue, Ikeja, Lagos <a href="https://nddpng.org/">https://nddpng.org/</a>
ナイジェリア商業乳業牧場経営者協会 (CODARAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年創立、メンバーは10団体。</li> <li>・乳業産業の開発、メンバーのキャパシティを向上させるための情報・サービス提供。</li> <li>・政策立案などに対する業界擁護団体。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治的な提携や所属がないことがホームページ上にはっきりと示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリューチェーン全体におけるステークホルダーとのネットワーク</li> <li>・情報提供</li> </ul>	Plot 817A Don P Ojemen Close, off Ebitu Ukiwe Street, Jabi, FCT-Abuja, Nigeria <a href="https://codaran.org/">https://codaran.org/</a>
ナイジェリアーオランダ乳業開発センター (CNDDD)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オランダの民間企業 Royal FrieslandCampina社とナイジェリア政府がタッグを組んで2020年10月に創立。オランダにおける乳業の150年の知見をナイジェリアの畜産農家と共有するためのトレーニングおよび情報共有を行う。</li> <li>・生産性(1頭当たり)と環境のサステナビリティを軸に、品種改良戦略から農園管理、飼料管理まで技術移転。</li> <li>・毎年ホワイトペーパーも発行していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民および小規模農家、研究機関、学生を巻き込み、バリューチェーンの上流から下流までを見ている。</li> <li>・FrieslandCampina社は、以前にも Dairy Development Programme (DDP) を通じて5州、9,000農家(うち950人は女性)を支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各政府機関および民間企業、バリューチェーン全体におけるステークホルダーとのネットワーク</li> <li>・官民連携</li> <li>・情報提供</li> </ul>	<a href="https://cnddd.org/">https://cnddd.org/</a> 現地法人: FrieslandCampina WAMCO Nigeria PLC ( <a href="https://www.frieslandcampina.com.ng/">https://www.frieslandcampina.com.ng/</a> ) ナイジェリア現地法人は60年前に設立され、現地ではPeak、Three Crowns、Frisoなどのブランドで乳製品の商品展開をしている大手メーカー。



## 乳業における参入可能性



# 3

ナマズ産業



## 概況・特徴(水産セクター)

- ナイジェリアの水産業における2018年の総生産量は約117万トンで、水産分野の2019年のGDPは約31.5億米ドル、産業別GDPの構成比では0.84%である(ナイジェリア国家統計局 GDPレポート)。
- 2018年の生産量の内訳は、海面漁業が42%、内水面漁業が34%、内水面養殖が25%であり、海面養殖は0.01%程度である(FAO Stat)。
- 内水面漁業には71万人が従事しており、うち21%が女性、海面漁業には76万人が従事しており、うち15%が女性である(FAO、2014年)。
- ナイジェリアの水産業はプライベートセクターにけん引されている。



## 概況・特徴(水産セクター)

- ギニア湾に沿って853キロメートルに及ぶ海岸線を有し、内水面漁場は1.3万平方キロメートル存在するが、水産物の輸入高は世界第19位であり(EUを除く)、アフリカでは最多である(FAO Stat)。また、日本からのサバの最大の輸出先でもある(農林水産省農林水産物輸出入概況(2019年))。
- 2017年の国民1人当たりの水産物摂取量は9.1キログラムであり、その4割を淡水魚が占め、浮魚が3割、底魚が2割、その他1割となっている(FAO Stat)。
- ナイジェリアの農業促進政策によると、2016年の国内の水産物の需要が270万トンと見積られるのに対して、国内生産量は80万トンであった。海面漁獲量の落ち込みと飼料価格による養殖生産量の少なさが原因と指摘されている。







## 業界構造(水産セクター)

- 海面漁獲、内水面漁獲、内水面養殖が同程度に行われている。
- 総生産量のうち、25%程度を占めるナマズ類の魚は、国内供給用である。
- 国内供給量の80%以上は、海面漁業、内水面漁業に携わる零細・小規模漁民により生産されており、内水面漁業では刺網、投網、敷網、はえ縄、やななど、海面漁業では刺網、投網のほか、釣り、地引網などが使われている。
- 輸入は主に海産魚で、サバ、ニシン、タラ、マアジなど、輸出しているのはエビをはじめとした甲殻類である。輸入量(輸入額)は2011年には175万トン(約21億米ドル)であったが、2017年には45万トン(約8億米ドル)と年々減少している。

		魚種	生産量(トン)	輸出量(トン)	輸入量(トン)
水産	海面漁業	海産魚	58,835	-	452,454(合算)
		サッパ属の魚	55,214	-	-
		エトマロサ・フィンブリアタ	44,788	-	-
	海面養殖	パナメイエビ	90	5,478(エビ合算)	-
	内水面漁業	ギギ、アフリカンクララ、その他ナマズ類	107,443	-	-
		ティラピア属の魚	69,579	-	-
		モルミルス・カヌメ	32,022	-	-
	内水面養殖	アフリカンクララ、その他ナマズ類	192,851	-	-
		コイ科の魚	23,244	-	-
		ティラピア属の魚	21,734	-	-
		ナイルパーチ	15,417	-	-
		ジムナーカス、アロワナ・ナイフ	13,086	-	-

(出所)FAO STAT



## 業界構造(内水面漁業・養殖)

- ナイジェリアの水産業では、内水面漁業・養殖の生産量が全体の60%近くを占め、養殖だけを見ると99.9%が内水面である。2018年の養殖生産量はアフリカで第2位である。
- ほとんどが国内供給用のため浜値も総じて低く1キロあたり2米ドルから3米ドルである。
- 内水面漁業・養殖を合わせて生産量が多いのは、ナマズ類の魚、ティラピア、アロワナ類の魚(エレファントノーズ・フィッシュ、ジムナーカス、アロワナ・ナイフ)、コイ科の魚、ナイルパーチである。そのうち44%がナマズ類の魚である(以上、FAO Stat 2018年)。
- 国民一人当たりの水産物の年間摂取量9.1キログラムのうち、41%を淡水魚が占める(FAO Stat 2017年)。
- ナイジェリア政府によると、ため池養殖に適する土地は170万ヘクタールあるが、利用されているのは60万ヘクタールのみである(World Fish Center)。

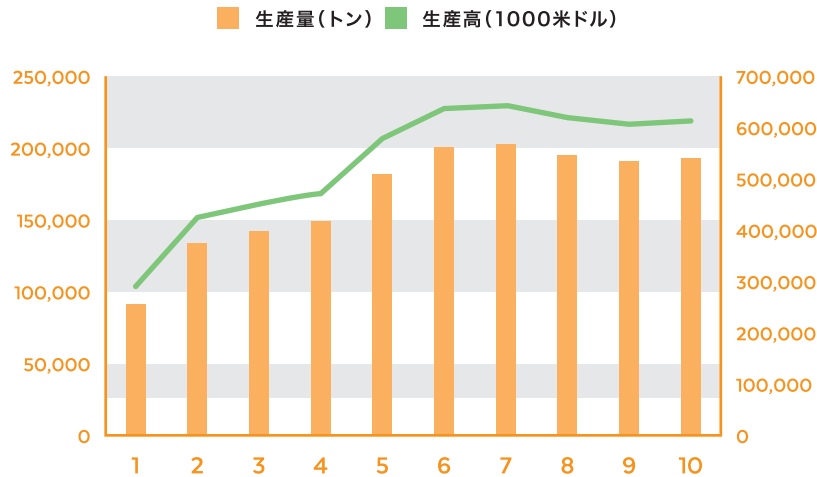
	特徴
ナマズ類の魚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総生産量は約30万トン(2018年)。</li> <li>・アフリカンクララ、ギギ、サカサナマズ、その他のヒレナマズ科やナマズ科の魚が含まれる。そのうちアフリカンクララが63%、養殖が85%を占める。</li> <li>・養殖の浜値は1キログラム当たり2~3米ドル(2018年)。</li> </ul>
アロワナ類の魚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総生産量は約9万トン(2018年)。</li> <li>・80%が漁業による生産である。</li> <li>・エレファント・ノーズフィッシュ、ジムナーカス、アロワナ・ナイフ等が含まれる。</li> <li>・養殖の浜値は1キログラム当たり2米ドル(2018年)。</li> </ul>
ティラピア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総生産量は約9万トン(2018年)。</li> <li>・内水面生産量の13%を占める。そのうち10%が漁業による生産量である。</li> <li>・ティラピアの養殖は未発展である。</li> <li>・養殖の浜値は1キログラム当たり2米ドル(2018年)。</li> </ul>
コイ科の魚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総生産量は約5万トン(2018年)。60%が養殖による生産である。</li> <li>・養殖による浜値は1キログラム当たり2.6米ドル(2018年)。</li> </ul>



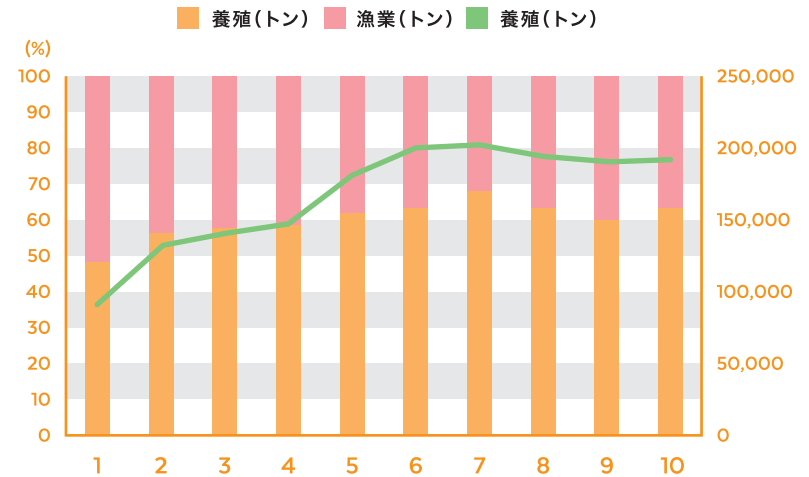
## 業界構造(ナマズ産業)

- ナマズは、ナイジェリアで広く食されており、また西アフリカ一帯でも一般に食されている魚種である。
- ナマズ漁獲量は10万トン程度で安定している一方、養殖生産量は2009年の9万トンから2018年には19万トンと2倍以上に増えてきている。養殖価格も安定しているといえる。
- 年2000匹程度の稚魚を生産する小規模な兼業養殖農家のほか、年30万匹ほどの稚魚を生産し、契約農家で委託養殖する養殖業者もある。
- ナマズは85%が鮮魚で流通しており、そのほか伝統的に燻製や干物などに加工されている。生のナマズの販売、加工は、主に女性が担っている。

ナマズ養殖生産量と生産額の推移



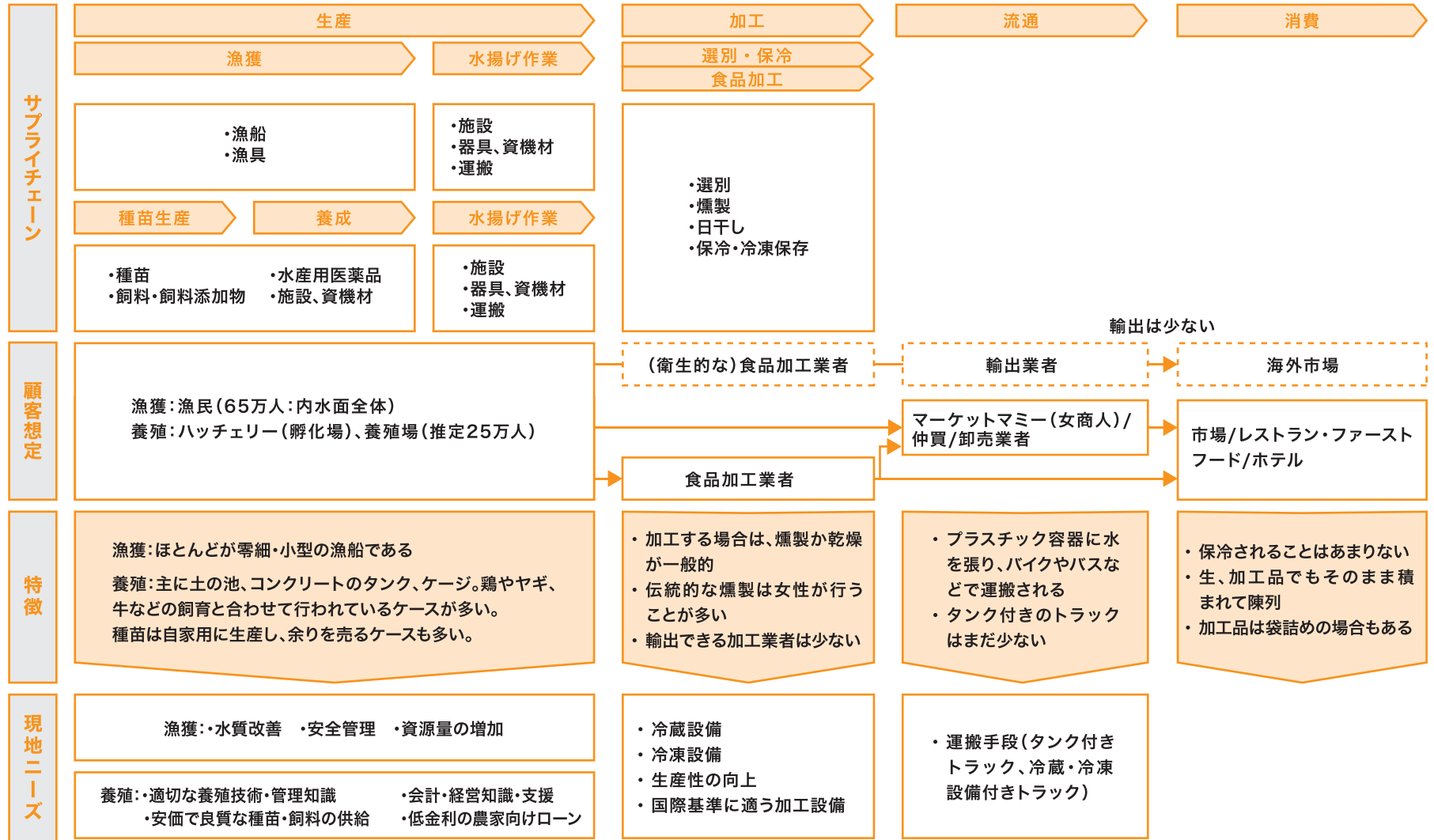
ナマズ漁獲と養殖生産量の割合の推移



(出所)FAO Stat



# 業界構造(バリューチェーン)



輸出は少ない



## 市場規模

### ナイジェリアのナマズ生産規模

**9.6億米ドル** (2018)

- 内水面漁業に携わる漁民は全体で65万人（ナマズ生産量は内水面漁業の30%）。ほとんどが零細・小規模漁民である（2016年）
- そのほか、仲買人、加工業者、漁具や漁船の製造者、製氷業者などが業界を構成している
- ナマズ養殖農家は25万人と推定されている（2012年）
- ナイジェリア政府は水産物及び動物たんぱく質の国内の需要にこたえるため、漁業・養殖の開発に力を入れている

### ナイジェリアの水産物輸入額



**7.8億米ドル** (2017)

- ナイジェリアにおける水産物の輸入額は2011年の20億米ドルをピークに減少している。それには政府が国内供給を高める努力が反映されている
- ナイジェリア政府は、2016年からの農業促進政策において、今後も国内供給の充実を支援し、水産物の輸入を減らしていく方針をとっている

(出所)FAO Statより当社で試算、FAO Stat



## ニーズが見込まれる製品・サービス

製品・サービス	想定される顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
生産・経営管理 アプリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッチェリー(孵化場)、</li> <li>・養殖農家</li> <li>・養殖業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な養殖技術・管理知識の不足、会計・経営知識の不足</li> <li>・生産管理によるロス及び生産コスト削減と経費の記録・分析、将来的には産直や養殖魚のトレーサビリティシステムとして利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッチェリーや養殖業者はある程度の購買力があるが、農家は年に数百円程度。必要な機能は異なるため、機能ごとに課金することで購買力の多寡に対応できる</li> <li>・競合品のイメージ:SAPのRural Sourcing Management</li> </ul>
代替飼料・低魚粉 飼料の生産・販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッチェリー(孵化場)、</li> <li>・養殖農家</li> <li>・養殖業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安価で良質な飼料の供給</li> <li>・成長速度が外国製に劣る場合の付加価値が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖業者では可能。個々の養殖農家では共同でならば可能と考える</li> <li>・競合品の価格:国産品0.5米ドル/Kg、輸入品(デンマーク、ノルウェー、アイスランド)1.8~2.1米ドル/Kg</li> </ul>



## ニーズが見込まれる製品・サービス

製品・サービス	想定する顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
簡易の加工機械、 パッケージング	・加工業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際基準に適う加工設備がないことが輸出のネックになっている</li> <li>・既存の燻製や乾燥加工は小規模の手作業が主であり多くの量をさばけないのが課題</li> <li>・それ以外の加工法による多様化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者の規模に応じて購入可能</li> <li>・競合品の価格:小型の燻製機で約300米ドル～</li> </ul>
衛生設備・機器	・加工業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出のために国際基準に適う衛生設備が必要</li> <li>・加工法に合わせた衛生的で保存のきくパッケージングによる多様化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者の規模に応じて購入可能</li> <li>・競合品はそれほど流通していない</li> </ul>



## パートナーとすべき現地企業の特徴

### 特徴

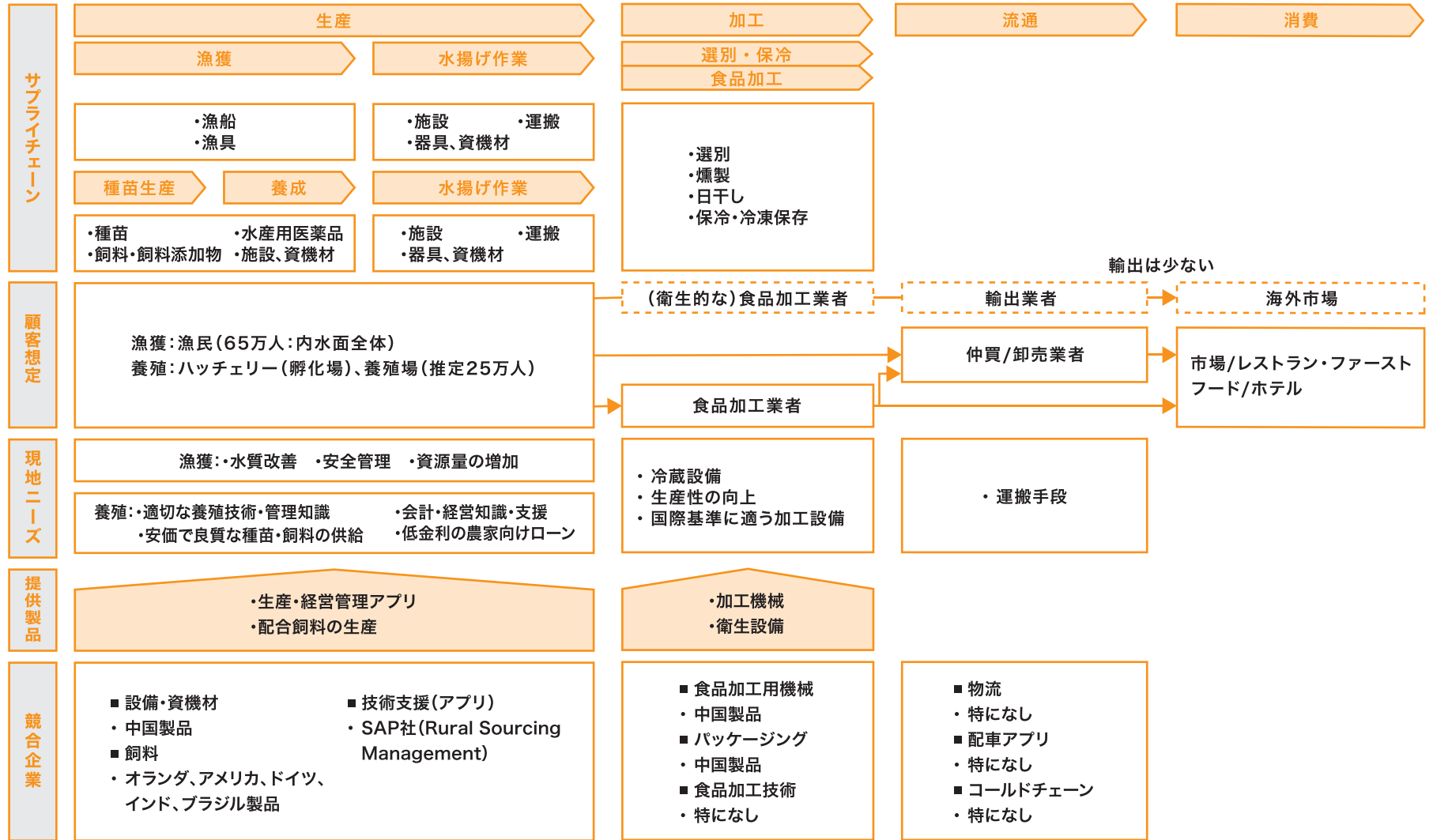
- 大手の養殖業者は、複数の契約農家（サテライトファーム）を持っており、稚魚や飼料の提供（貸付）を行っているため、まとまった導入が可能
- 飲食店やファーストフードチェーンなど、農家/業者から直接仕入れている場合は、コスト削減や安全性をアピールしやすい

名称	業務内容	特徴	期待される役割	所在地/ウェブサイトなど
El-kanis and Partners	農業技術プラットフォームの開発	モバイル決済ソリューションにより、農家の要望と農業サービスプロバイダーをオンデマンドでつなぐ (FarmX)	技術協力、ノウハウ	Ekan Crescent off Uyo City Polytechnic Road, Ikpa Road, Uyo, Akwalbom State 66 Kwame Nkrumah Street, Asokoro, Abuja. <a href="https://elkanisgroup.com/">https://elkanisgroup.com/</a>
Catfish and Allied Farmers Association	各州に支部があるナマズ農家協会	例えばラゴス州では800人ほどの会員がいる	養殖農家とのネットワーク	3, Wilmot Point Road (N.I.O.M.R) Victoria Island, P.O Box 12888 Ikeja-Lagos. 現地携帯番号: 09063943554, 08098332997
Association of Fish Farmers and Aquaculture of Nigeria (AFFAN), Fish Society of Nigeria (FISON), West Africa Aquaculture Productivity Initiative (WAPI)等	漁民の全国組織	—	養殖農家とのネットワーク、他の魚種への拡大	・ FISON <a href="http://www.fison.org.ng/">http://www.fison.org.ng/</a> ・ WAPI GODIYAPLAZAPLOT1885OFFYAK UBUGOWONCRESCENTASOKORO, ABUJA, F.C.T.
Sundry Foods Limited	ファーストフードチェーン「キリマンジャロ」の経営	国内に40店舗を展開、他にピザ店やストリートフードなどのブランドもある	養殖農家とのネットワーク、意識向上	23, Nzimiro Street, Old GRA, Port Harcourt, Rivers, Nigeria <a href="https://sundryfood.com/">https://sundryfood.com/</a>





## ナマズ漁獲・養殖業における参入可能性



輸出は少ない



## 参入事例(進出済み)

会社名	セクター	概要・特徴	製品・サービス	進出形態	所在地/ウェブサイト
紀州技研工業	光学・精密機械	・産業用ラベルプリンターの販売	ラベルプリンター	販売代理店	<a href="https://www.kishu-giken.co.jp/">https://www.kishu-giken.co.jp/</a>
イシダ	その他機械	・食品工場用機械の販売	—	販売代理店	<a href="https://www.ishida.co.jp/ww/jp/">https://www.ishida.co.jp/ww/jp/</a>
トーハツ	その他機械	・船外機の販売	—	販売代理店	<a href="https://www.tohatsu.co.jp/">https://www.tohatsu.co.jp/</a>
トヨタミ	その他機械	・調理ストーブの販売	—	その他	<a href="http://www.toyotomi.jp/">http://www.toyotomi.jp/</a>
スズキ	自動車	・船外機の販売	—	販売代理店、生産設備	<a href="https://www.suzuki.co.jp/">https://www.suzuki.co.jp/</a>
ヤマハ発動機	自動車	・船外機の販売 ・バイク配車アプリ事業に出資 ・タンザニアで未電化地域向けの太陽光電力販売事業に出資	—	現地法人	<a href="https://global.yamaha-motor.com/jp/">https://global.yamaha-motor.com/jp/</a>
関西ペイント	化学	・塗料の販売 ・日本では高度排水処理用微生物個体化担体も提供	塗料の販売	合併会社(2020年度中に撤退予定)	<a href="https://www.kansai.co.jp/">https://www.kansai.co.jp/</a> <a href="https://plascon.com/">https://plascon.com/</a>
DIC	化学	・塗料の販売(パッケージング)	—	子会社の米Sun Chemical社が現地法人	<a href="https://www.dic-global.com/ja/">https://www.dic-global.com/ja/</a>
味の素	食品・飲料	・うま味調味料や加工食品の製造・販売	—	現地法人	<a href="https://www.ajinomoto.co.jp/">https://www.ajinomoto.co.jp/</a>
横浜冷凍	農林水産	・サバの輸出	—	販売代理店/提携先	<a href="https://www.yokorei.co.jp/">https://www.yokorei.co.jp/</a>



## 参入事例(進出済み)

会社名	セクター	概要・特徴	製品・サービス	進出形態	所在地/ウェブサイト
アフリカ インキュベーター	情報・通信・ コンテンツ	・現地企業向けの 流通管理アプリ・システムの開発・販売		現地子会社 Senri Ltd. を設立	<a href="https://afri-inc.com/">https://afri-inc.com/</a>
Standage	情報・通信・ コンテンツ	・ブロックチェーンを使った貿易決済と貿易業務		現地法人	<a href="https://standage.co.jp/">https://standage.co.jp/</a>
太陽インダストリー アフリカ	その他サービス業	・魚類の販売(ナイジェリア) ・土壌用環境資材の開発 ・アスリート留学生のあっせん		現地法人	<a href="http://www.taiyo-industry.jp/about%20us.html">http://www.taiyo-industry.jp/about%20us.html</a>
三菱商事	総合商社	・アフリカ20カ国に拠点を持つ シンガポール農業商社Olamと資本業務提携 ・Olam社はナイジェリアに水産飼料工場を運営		現地法人	<a href="https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/">https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/</a>
豊田通商	物流	・消費財メーカーやeコマース業者などの配送ニーズと、登録しているバイクやトラックを保有する個人配送業者をつなぐ ・荷主と配送業者間の配送ルートや価格などの交渉を簡素化し、物流の効率化とコスト削減 ・貨物の配送・納品状況をリアルタイムに追跡し、物流の透明性と安全性を向上	物流デジタル プラットフォーム	・ナイジェリアを中心とした東アフリカで物流デジタルプラットフォームサービスを展開するSendy Limitedに出資 ・太陽光発電に出資	<a href="https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/200204_004552.html">https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/200204_004552.html</a>



## 参考情報: ナイジェリアの食文化



### フフ

特徴: 蒸かしたヤム芋やキャッサバ、プランテンバナナを餅のようについたもの。様々なソースと共に食べる。これは西アフリカ諸国で広く食べられている。



### エグシスープ

特徴: ウリ科の植物、エグシの種子を砕いてペースト状にしたものを、肉や干し魚、野菜と煮込んだスープ。



### ジヨロフライス

特徴: 肉や魚、野菜を炒め、香辛料を加えて煮込んだスープで、米を炊いた料理。ギニア湾北岸のアフリカ諸国で食されている。



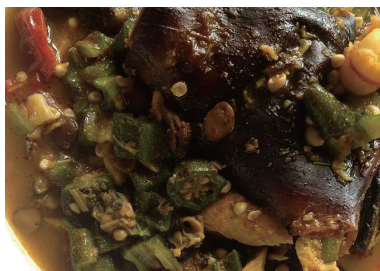
### ペペスープ/オベアタ

特徴: 牛肉やヤギ肉、魚、トウガラシを香辛料と煮込んだスープ。しっかりとした辛味があるのが特徴。



### スヤ

特徴: 挽いた唐辛子、ピーナッツパウダー、スパイスをコーティングしたラム肉などのグリル料理。



### ドロースー

特徴: オクラ、マンゴーの種、エウエドの葉(ジュート)などを煮て作るスープ。フフと一緒に食べるのが一般的。



### アマ

特徴: ヤム芋又はキャッサバの粉をお湯で練ったもの。フフと同様に、様々なスープと共に食べる。



### ドド

特徴: プランテン(甘くないバナナ)に塩を振りかけてフライにした料理。

(出所)写真はWikimediaより

発行者：アイ・シー・ネット株式会社

総責任者：井上真

全体管理：松本幸敏、山崎晃子、太田みなみ、淵上雄貴

調査担当：(アフリカ農水産品・食品関連)横山裕司(リーダー)、東枝里子、薄葉葵、菊池靖子、宮川歩、古市信吾

お問い合わせ：Business\_Consulting@icnet.co.jp

デザイン：株式会社ツープラトン

本レポートは、出所を記載した二次資料及び当社による現地ヒアリング結果に基づき、有益だと判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。